

## 平成26年度事業評価結果に対する検討結果報告書

事業番号	事業名	事業担当課
8	青少年相談室運営事業	青少年課

事業評価の判定結果	市の対応方針
見直し	見直し

### 1 概要

#### 主な見直し事項

青少年指導・相談事業との統合

#### 対応方針等の具体的内容

運営のみ別事業にする必要性が良く分からないなどの理由により、見直しとの評価を受けました。これを受け、青少年相談室の各事業について、検討した結果、事業を統一することとし、見直しとの方針としました。

#### 財政的効果

平成27年度予算額(案) (千円)(A)	平成26年度予算額 (千円)(B)	差引額(千円) (A)－(B)
20,585	20,544	41

#### 特記事項

平成26年度予算額及び平成27年度予算額(案)ともに「青少年指導・相談事業」と「青少年相談室運営事業」の2事業を統合・合計した金額です。

事業評価結果を受けた事業の統合による効率化により128千円の予算減額を行いました。その他に市全体予算の中で調整等の中で予算の増減を行いました。

※平成27年度予算額(案)は、平成27年度平塚市各会計予算が平塚市議会で可決されることによつて確定するものです。

## 2 各意見等に対する見解

作業メンバーの意見、作業シートの記載内容に対する見解	
<p><b>(1) 事業の成果について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・非行数を少なくするのが重要であるので、その対応の指標に見直す。</li><li>・非行の内容で指標を見直す。</li></ul>	<p>(検討結果等)</p> <p>非行化防止活動を行う上で、非行数を把握できる警察が行う送致件数は、子どもの非行傾向等を知る上で参考にはなりますが、愛護指導は非行の未然防止を目的としており、直接の成果指標としてそぐわないため、より良い指標について研究していきます。</p> <p>具体的には非行へと発展するおそれのある青少年の問題行動別に対する愛護指導における声掛け指導件数等を検討しています。</p>
<p><b>(2) 事業の統廃合について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・運営のみ別事業にする必要性が良く分からない。重複しているのではないか。</li><li>・相談室事業は一つに統合すべき。事業も重なっているので、例えば事務所の管理費、維持費、研修費等は明らかに重なっている。</li><li>・事業を分けるなどして透明性を高めた方が良いのではないか。</li></ul>	<p>(検討結果等)</p> <p>青少年指導・相談事業と青少年相談室運営事業は今後、一つに統合し、見直しをしていきます。</p>
<p><b>(3) 補助金について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・法務省の「保護司」「社会を明るくする運動」について、市役所として担うべき役割の再検討が必要。</li></ul>	<p>(検討結果等)</p> <p>問題行動のある青少年が立ち直り、犯罪に関わらないように守られていくためには、犯罪や非行の防止、罪を犯した人への更生保護活動による再犯防止に関係機関が連携を図るとともに、活動を強化していくことや市民に理解と協力をしていただくことが大切だと考えています。市役所として担うべき役割としては、こうした関係団体に対して必要な支援をしていくことであり、その中で、補助金や活動場所の提供等を通し、これからも支援を続けていきます。</p>
<p><b>(4) 手法の見直しについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・啓発活動については、民間委託を活用してみてもどうでしょうか。対象者が若者である以上、チラシというのはほとんど見ないと思います。</li></ul>	<p>(検討結果等)</p> <p>啓発活動については、生徒だけではなく、保護者に対してもチラシを配布しています。チラシにすることで、誰でも見ることができ、広く周知できるのではないかと考えています。又、配布後の時期には相談が増えている状況も見られることから今のところ、民間委託は考えていません。</p>